



# あらむね

Vol. 64

2025.3.1 発行

*Shining Stars*



**「あらむね」の由来** 「あらむね (ALUMNAE)」とは、女子同窓生という意味で、ラテン語が語源の英語“ALUMNA”の複数形です。シスター・フェクトが命名、元教頭 堀先生が題字を揮毫してくださいました。



## 賢明ファミリーの皆さまへ

会長 永井 綾子 (旧姓:大野) (24回生)

賢明ファミリーの皆さま、いかがお過ごしでしょうか。昨年は大きな災害から始まった一年でした。今年こそは明るいニュースが日本各地から、そして世界の国々からも届く年になりますように願わずにはられません。

今年72回生が卒業します。激動の時代だった「昭和」が終わり平成・令和と進んでも、「The Best」の精神が後輩たちへと受け継がれていることを実感できるのは嬉しい限りです。

72回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。大きな夢と希望を胸にまっすぐな道を歩き始めた皆さんはとても素敵です。皆さんと同窓生としてお会いできることを楽しみにしています。

昨年も同窓生の皆さまのお力添えで、理事総会及び同窓会バザーという大きな行事を終えることができました。特にバザーを開催するには同窓生のご協力がなくてはならないものです。本部役員一同、心より感謝申し上げます。

今年度は母校と淳心学院との交流がさらに活発になり、お互いの学院祭に出演・出展するコラボレーションが実現しました。私たちも淳心学院の学院祭で同窓会本部のイベントのお手伝いをさせて頂きました。隣校の同窓会とはいえ近くて遠い関係と認識していました。しかしながら学ぶことも多く、同窓会の意義や役割を改めて考える良い機会を頂いたと思います。

さて今年度の中学1年生は69名でした。

同窓生の私たちにとっては衝撃的な数字ですが、少子化に加え共学志向の強い関西圏では以前よりも別学が選ばれなくなったことも、母校の入学人数に大きく反映していると思います。未来の同窓生が減っていく現状はとても残念であり、母校の存続への懸念も耳にされることがあるかもしれません。同窓会はもちろん、母校と力を合わせてこの局面を乗り越えて行きたいと切に願っております。また同窓生の多岐にわたる活躍などをこの誌上でご案内することは、母校への応援の方法の一つであると信じています。

同窓会では未来の同窓生のために寄付のご支援をお願いしております。毎年届く皆さまのお気持ちがとても大きな力になって、母校のみならず本部役員も励まされていることを伝えたいと思います。なにとぞこれからも同窓生の皆さまの温かいお力添えをよろしく願いいたします。



## 冬きたりなば春遠からじ

理事長 シスター 山本 千恵

「あらむね」64号が届くと春の到来を実感し心が明るく伸びやかになります。

冬の寒さが遠のいたのも然ることながら、昨年は異常気象とも思える天候の中で自然災害が続発する度に心に痛みを宿しつつ春を待ちました。

そのような状況の中で、賢明72回生85人が卒業の時を迎え、「同窓生」として新しい歩みを踏み出すこととなったのは、私にとってまさに春一番の嬉しさでした。

私は彼女たちの卒業アルバムの寄せ書きコーナーに「忘れないでね。あなたの内に輝いている光を！」と記しました。賢明で青春パワーを燃やし学んだ一人一人の心には「賢明は燈台の光」と歌い続けた「校歌」の懐かしさが宿っていると信じるからです。

「あらむね」各号を通じて先輩同窓生の近況に触れる度毎に、お一人お一人が人生の歩みをもって、賢明の心を証しておられる生き様に感動し嬉しく誇らしくさえ感じさせられます。

私たちの日々の歩みでは、暗さや闇の襲来に心を閉ざしている時や出来事に出会うとしても、私たちは心の底に差し込んでいる光を身に帯びて、ご一緒に春告げ鳥のように「校歌」を歌い続けてまいりましょう。



## 賢明の未来を開く太い心の絆を

学校長 藤岡佐和子 (30回生)

春を運ぶ風の音が聴こえて参ります。

卒業生の皆様におかれましてはお元気でお過ごしのこととお喜び申し上げます。

リヴィエ会報『あらむね』64号発刊おめでとうございます。日頃より、同窓生の皆様におかれましては、母校、賢明女子学院の発展のために多くのご支援を賜り感謝申し上げます。

今年も、賢明女子学院高等学校第72回生85名が伝統の「光の式」でいただいた「ともし火」を掲げて船出し、新たに同窓会の仲間入りをさせていただくことになりました。賢明の教え、神への愛、他者への愛を忘れず、「温かな眼差し」「気づく心」を大切に、力強く歩み続けて欲しいと願います。

世界は大きな変化の時期を迎えています。AIが急速に進化し、数十年の内に人間が行う仕事の約半分がAI化されると言われていますが、合理化が進むと世の中は知に偏重し、感性が失われて心が育たず、人格形成に支障を来します。

人間がAIに支配されてしまうというSF小説がありますが、小学生からスマホやタブレットに没頭する現状を見ると心配になります。ITを真っ先に導入したスウェーデンでは電子機器の弊害に気づき、一早くタブレットを紙の本に戻したそうです。

AIを正しく用いる為には、真に人間らしく成長する為の学びが必要です。豊かな感性と、深く感じる心を育み、やわらかな心を持ち続けることができれば、愛のある日々を送ることができるでしょう。

「やがて汲み尽くされる水槽のようではなく、決して涸れる（かれる）ことなく、豊かに水を与える泉のようでありなさい」創立者、聖マリー・リヴィエの言葉が響きます。賢明の生徒達が「温かいまなざし」を忘れず、愛のある人に育つことを心より願い、教職員一同、日々精進を続ける所存です。

卒業生の皆様も、学院を温かくお見守り下さり、益々のご支援ご指導を賜りとう存じます。最後に、卒業生の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。

## 卒業生のことば

高3(72回生) 菅野 柚希

新たなデザインの制服に初めて袖を通すことになった私たち72回生。満開の桜の下で写真を撮ったあの日から6年が経ちました。6年間、お祈りから1日が始まりました。奉仕活動や部活動、Be Leadersに積極的に参加し、合唱コンクールやクリスマスブローでは一致団結。The Bestの精神を大切に賢明の伝統を受け継いできました。72回生ならではの新たな企画や行事も盛りだくさんでした。豊富なタレントを活かした特技披露大会にプレゼン力が光った1分間スピーチや弁論大会。英語での発表も行った探究活動。72回生の6年間は、賢明の伝統を受け継ぎつつ、新しいことへの挑戦にあふれていました。時には進路選択や勉強に不安になったことも、自分に自信が持てなくなったことも、暗闇に飲み込まれそうになったこともありました。その度に先生方や家族、多くの方々が私たちの道を照らし、導いてくださりました。私たちを支えてくださった皆様に感謝します。この春、私たちは新たな世界へ踏み出します。「周囲を照らし、導く女性になる」私たちが実践する時です。

## 周囲を照らし、導く女性に

高3(72回生)学年主任 平尾 一貴

平成最後の入学(2019年4月)、コロナ禍、総合的な探究の時間をはじめとする新課程。めまぐるしく変化する激動の6年間を持ち前の明るさとプラス思考で乗り越えてきた72回生。ついに卒業の時を迎え、賢明同窓会の仲間に加えていただく時となりました。個性豊か、新しい事に挑戦する、物怖じしない。様々な特徴を随所に発揮して何事にも積極的に挑戦し、経験を積んで立派に成長してくれたと感じます。これから踏み出していく社会はより複雑に、そして溢れる情報に対して確かな判断力、多様化する価値観に対応する力が求められます。時代は変わっても賢明ファミリーとしての誇りと他者を敬う精神は、同窓会の皆様のように72回生も持ち続け、今後も活躍、社会に貢献してくれると信じています。最後になりましたが、学院祭や卒業式、多くの場面で在校生のためにご尽力いただきましてありがとうございました。72回生も後に続きます。言い続けた周囲に対する「感謝」の気持ちを大切に、周囲を照らし、導く女性に。



## 2023年度 進学状況

### 国公立大学

大学名	学部名	現役	既卒	合計
信州	教育	1		1
埼玉	理	1		1
大阪	工	1		1
神戸	国際人間	2	1	3
兵庫教育	学校教育	1		1
和歌山	観光	1		1
鳥取	工	1		1
広島	工	1		1
徳島	総合	1		1
香川	経済	1		1
神戸市看護	看護	1		1
兵庫県立	工	2		6
	看護	1		
	環境人間	1		
	国際商経	2		
公立鳥取環境	環境	1		1
九州歯科	歯(歯)	1		1
合計		20	1	21

### 国立大学校

大学名	学科名	現役	既卒	合計
国立看護大学校	看護	1		1
合計		1		1

### 私立大学

大学名	学部名	現役	既卒	合計
上智	文	1		1
明治	商	1		5
	情報コミュニケーション	1		
	農	1		
	文	2		
青山学院	経営	1		1
立教	経営	1		1
中央	法	1		2
	理工	1		
東京医科	医(医)		1	1
日本女子	家政	1		1
共立女子	家政	2		2
杏林	保健	1		1
実践女子	生活	2		2
明海	歯	1		1
愛知	経営	1		1
中京	総合政策	2		2
京都芸術	芸術	1		1
京都産業	現代社会	1		3
	文化	2		
京都女子	文	1		2
	法	1		
京都先端科学	工	1		2
	バイオ環境		1	
同志社	グローバル・コミュニケーション	2		11
	経済	1		
	社会	1		
	商	1		
	神	1		
	政策	2		
	文	2		

大学名	学部名	現役	既卒	合計
同志社	法	1		
同志社女子	学芸	1		1
立命館	生命	2		4
	総合心理	1		
	文	1		
龍谷	経営	2		17
	国際	1		
	社会	1		
	農	6		
	文	6		
	歴史	1		
大阪学院	情報	2		2
大阪芸術	芸術	2		2
大阪工業	情報	1		1
大阪歯科	看護	2		2
大阪成蹊	データサイエンス	1		1
大阪電気通信	情報通信工	1		1
関西	社会		1	6
	商	1		
	総合情報	1		
	文	1		
	法	2		
関西外国語	英語キャリア	7		11
	英語国際	1		
	外国語	3		
近畿	経営	3		15
	国際	4		
	農	4		
	理工	4		
摂南	理工	1		1
関西福祉	看護	2		2
関西学院	教育	2		20
	経済	4		
	国際	2		
	社会	3		
	商	1		
	生命環境	4		
	総合政策	2		
	文	2		

大学名	学部名	現役	既卒	合計
甲南	経営		2	10
	経済	1		
	文	3		
	マネジメント創造	2		
	理工	2		
甲南女子	医療栄養	1		14
	看護リハビリテーション	5		
	人間	8		
神戸学院	栄養	1		10
	経営	1		
	経済	1		
	現代社会	3		
	人文	2		
	心理	1		
	薬	1		
神戸松蔭女子学院	人間	3		3
神戸女学院	国際	5		15
	心理	4		
	人間	4		
	文	2		
神戸女子	家政	1		10
	看護	7		
	心理	2		
神戸親和	教育	6		6
神戸常盤	保健	1		1
神戸薬科	薬	3		3
姫路	看護	1		1
姫路獨協	看護	1		1
兵庫	看護	2		2
兵庫医科	医(医)		1	7
	看護	3		
	薬	3		
武庫川女子	教育	1	1	11
	健康・スポーツ	1		
	社会情報	2		
	食物栄養	1		
	心理・社会福祉	5		
ノートルダム清心	人間生活	1		1
合計		214	7	221

## 2025年度 中学入試状況

入試広報部長 松井 貴弘

今年度より入試広報部を立ち上げ、募集活動の強化のための業務効率化を進め、今まで以上に精力的な広報活動を行ってまいりました。志願者数・入学者数共に昨年度入試より若干名の減少にはなりましたが、生徒たちは満足度の高い学校生活を過ごしています。また、生徒会Instagramも立ち上げ、生徒たちも自ら情報発信をしています。卒業生の皆様も、引き続き近くの小学生・中学生へ賢明の良さをお伝えいただけたらと思います。

### 中学入試

入試日程	募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学予定者数
A日程	135	77	76	71	S25
B日程		104	102	91	
C日程	10	0			L40
計	145	181	178	107	65

※C日程の出願者数はA Bの合格者を除いた実数。

※合格者合計は重複を除く。

※入学予定者数は1月31日現在。手続きを終了したのでほぼ確定の人数。

# 新たなチャレンジ ～75周年に向けて～

時代の流れに合わせ、灯台の光となるべく、新たなチャレンジが始まっています



夏休み、私服登校をためしてみました

コート・マフラーも自由化へ



## 生徒会からのメッセージ

同窓生の皆さんこんにちは！  
今年度生徒会総務では生徒会用Instagramのアカウントを開設しました。賢明のことを知りたい皆さんに「リアルな賢明」を知っていただくために生徒目線で魅力を発信しています。同窓生の皆さんにも、学んだ校舎や参加した行事、懐かしい先生方などを感じ取ってもらえると嬉しいです。一度

ご覧になってぜひフォローもお願いします。  
他にも長期休み期間の私服登校や、コート、マフラーの自由化など様々なことにも取り組んできました。来年度からはスラックスも導入されます。時代の流れに合わせ、賢明の良いところを残しながらも、更に素晴らしい学校になるようにこれからも取り組んでいくので、どうぞ温かく見守ってください。



食堂で子ども食堂を開催

## 今の賢明の様子はこちらでチェック

学校 Instagram

生徒会 Instagram



HIMEJIKENMEI



KENMEI.SEITOKAI

## 賢明と淳心がコラボ



賢明からも淳心へお茶席でのおもてなしをお手伝い



ここ数年、生徒会活動や部活動だけでなく、教育活動でも日常的に交流をし親交が深まっていた淳心と賢明。今年は初めて、お互いの文化祭に出演・出展しコラボレーションしました。

淳心学院からのリクエストで、賢明からはダンス部・演劇部・コーラス部が『淳心祭』に参加。淳心学院からは音楽部・軽音楽部・電子部が参加してくださいました。

「現役生が交流しているなら、同窓会も」ということで、本部役員同士も交流を行いました。私たちは淳心祭で同窓会が実施されているお茶席のお手伝いを、淳心同窓会の方には学院祭バザーで売り子やレジ担当をお願いしました。

同窓会としても、今後もお互いに情報交換や交流を行いながら、現役生の交流を盛り上げていけると思っています。



淳心同窓会の方には販売や会計ブースでお手伝いいただきました



電子部ブースで楽しむ賢明生

野外ステージでは  
淳心生のパフォーマンスに  
大盛り上がり



ステージではブラスバンド部が合同演奏を披露

今年はキッチンカーも  
登場しました



# 学院祭

2024年  
9月14日(土)

# バザー報告 Bazaar

9月14日(土) 学院祭において、同窓会バザーを開催しました。今年にはキッチンカーが登場し、在校生は新たなチャレンジとして模擬店に取り組みました。きびしい残暑が続く中、この日もとても暑く、たくさんの来場者と理事の皆さんの活気で、さらに熱気あふれる会場となりました。そんななか、理事の皆さんがお互いの体調を気遣い、声を掛け合う姿に、賢明で学んだ「博愛の精神」が息づいていると実感しました。

物品を提供くださった皆様、バザーにお越しくくださった皆様、開催にご協力いただいた皆様、多くの方のお力添えに心から感謝いたします。



生徒展示



運動部による模擬店  
開催も初の試み

生徒  
模擬店



生徒発表



駄菓子



あれもこれもお安く

理事の皆さんの協力の下、  
無事開催できました！





同窓会  
バザー



駄菓子コーナーが復活、  
やっぱり大人気でした😊



クッキーや  
ラスクなどの  
食べ物も充実



喫茶コーナーではあち  
こちで同窓生が久々の  
再会を喜んでいました

喫茶



高価な食器も格安で！



## 役員の声

- 卒業してから初めて参加した学院祭。思っていたよりも楽しい時間を過ごせ、改めて賢明卒業生に誇りを持ちました。(31回生)
- 今年から会計が現金になっていましたが、思いの外問題なくうまくいったと思います。(41回生)
- 1人で沢山購入される人がいるのにびっくりしました！(26回生)
- 現役時代は当日役割が多く、時間的制約があり目一杯楽しめなかった分、純粋に楽しかったです。先輩方や生徒との関わり・先生方との関わり、これから賢明に来てくれるかもしれない子たちとの関わり…とたくさんの人と関わる機会になりました。(70回生)
- 賢明に特化したお菓子や、賢明生にちなんだお店の食べ物があるとよりよこばれるのかなと思いました。(63回生)

# Shining Stars

～卒業生の一人一人が輝いています～

## 陶の遊び

日本で唯一の女性陶芸家団体“女流陶芸”が令和4年第56回女流陶芸公募展をもって56年続いた活動に終止符が打たれました。全国に会員が60名。私は50年間に在籍、毎年秋に京都市美術館（令和2年より京都市京セラ美術館）に作品を発表してきました。この会場は陶芸家を目指す女性陶芸家の登竜門であり聖地でした。在籍中、文部科学大臣奨励賞、河北記念賞を受賞、会の運営にもかかわっていましたが会の終結により作品発表の場を失いました。これからは依頼のある百貨店の美術画廊で個展を開催して作陶を続けていこうと思っていました。しばらくして知人から伝統ある日本新工芸展（東京都美術館開催）に出品してはどうかと連絡があり応募したところ日本新工芸賞を受賞しました。この受賞によりさらなる高みを目指していく決意が生まれ新しく作品出品の場、東京都美術館ができました。また、出品をすすめてくれた知人に感謝しています。

私が作陶をはじめたきっかけは幼い頃より茶道を

習っていて、20歳を過ぎた頃、自分で茶碗を作り抹茶を点てて飲みたいと思ったのがきっかけでした。その頃、縁があって松江市の袖師窯、尾野敏朗氏に師事、作陶をはじめました。初めは茶碗や水指、香合など茶道具や食器を作って、日常に使い楽しんでいましたが京都市美術館で開催されていた女流陶芸展会場個性あふれるオブジェの立体作品に感銘を受けて立体作品も作るようになりました。以後50年間に数々の賞を受賞して作品が認められるようになりましたがその作品が価値ある作品となって永久に残っていくことを望んでいます。それには、これからも精進して作陶を続けていくことだと思っています。

先輩の陶芸家、坪井明日香氏が2年前90歳で天国へ旅立たれましたが2日前まで作品を制作されて一生現役を貫かれた生き様はあっぱれと言う以外言葉はありません。

私は現在84歳まだまだ作品を作り続けるためには時間が足りなくなりそうです。急ぎましょう。



6回生 姫路・夢前  
原田 隆子さん

### \* profile

作陶の概念にとらわれない、自由でおらかな発想で、時に前衛的とも呼ばれるオブジェから食器、茶道具まで幅広く独創的な作品を作り高く評価され、播磨地方の陶芸家の草分けであり、また日本における女流陶芸の中心となり、古いきたりを乗り越え、多くの後進に道を拓き、陶芸を通じた芸術文化の発展に大きく貢献。半どんの会文化賞（昭和62年）、女流陶芸展 文部科学大臣奨励賞（平成17年）、姫路市芸術文化賞（平成30年）、兵庫県文化功労者表彰（令和5年）、日本新工芸賞（令和6年）、個展41回（大阪高島屋、京都大丸、東京池袋東武百貨店、姫路山陽百貨店など）  
撮影者：尾内美智代



あさごの森美術館にて



ブルーダンス

樹々彩々

青山彩彩

銀彩器“風”



矢木の雨

## 最期まで The Best の人生を

「奈っちゃん」と聞けば、27期の誰もが刈り上げ頭の元気いっぱいの姿を思い浮かべるでしょう。奈っちゃんは、周りを楽しい雰囲気させる人でした。独特の存在感があり、思ったことをぼそっと口にするけれど、何を言っても嫌味に感じさせない愛すべき人柄でした。賢明時代は美術部や文芸部に所属し、人や自然に対する愛情や、畏敬の念を表現した作品を生み出しました。賢明卒業後は、京都ノートルダム女子大学美学部へ進んだのち結婚し、2女に恵まれて穏やかに過ごしていました。

そんな奈っちゃんが、乳がんになったのは36歳の時でした。右胸の温存手術の後、放射線治療、抗がん剤治療を受け、ひとまず寛解。その時のブログ「LINEN GYOZA 近況日記」には、「がんより元気に真面目に遊んでいます」と、前向きでユーモアたっぷりの闘病生活が記されています。46歳で乳がんからの肺転移が見つかり、ステージ4の診断を受けてからの16年間も、奈っちゃんは変わらず前向きに楽しみながら人生を送ってきました。もちろん抗がん剤を始めとする治療も効果があったと思いますが、何よりも前向きに生きようとする姿勢が、がんを抑えて来たのでしょう。

奈っちゃんは、いつも笑顔で、いつも穏やかで、いつも自分よりも人のことを気遣い、いつも人のために何かできることがないかということを考えていました。そして令和5年初秋、病状が悪化して、抗がん剤治療から緩和ケアへの移行を決心した頃、ある企画を思いつきます。通院していた姫路医療センターの待ち時間等に、向かいにある姫路市立美術館を利用してと呼びかけるポスターを作成する企画です。「隙間時間の美術館利用」「自分に向き合う場としての美術館利用」という自分の経験から、美術館に立ち寄ることで、医療センターを訪れた患者やその家族が少しでも穏やかな気持ちになれるようにと考えた企画でした。まず

はポスター作成に賛同し協力してくれる人たちに呼びかけて、「そうだ！待ち時間に美術館へ行こう！！」というポスターとチラシを作成。美術館側からのメッセージと、医療センターの医師からのメッセージももらって、年末に完成させました。そのポスターは今も、医療センターの受付やロビーに貼ってあります。身体の痛みや吐き気に悩まされ、苦痛と闘いながらも、人のために生きようとした見事な最期でした。まさに賢明の愛の精神と「The Best」を全うした生き方といえるでしょう。

賢明との繋がりも大切にしていました。学生時代お世話になったシスター滝加津子先生と何度か偶然出会うご縁があり、最期まで恩師と仰いで交流していました。賢明の目の前にある「しらすぎ大和会館」で行われたお別れ会には、友人知人総勢100人以上が駆け付け、奈っちゃんの人柄が偲ばれるお別れの会となりました。賢明からは、代表で理事長のシスター山本千恵先生も来て下さいました。令和6年1月14日、62歳。大好きな花々とたくさんの手紙に囲まれて、お洒落な奈っちゃんらしい旅立ちでした。



27回生  
故 岡本奈津子さん  
(旧姓：今井)

### クエスチョン by: 今奈

スパゲッティ進む胃へと進む  
コロッケ落ちる胃へと落ちる  
のどにつかえたときは——  
卵スープで流す胃へと流す

テレビでもつけてみながら食べよ  
ニュースはパンクラデシュ  
飢えた子供を大写真

サラダボールからレタスをとって  
1枚2枚3枚4枚——  
テレビにあるのは光った眼だけ  
1つ2つ3つ4つ——

テーブルにはまだスパゲッティが山  
ほどあるんだ  
飛行機で 船で 風船にたくして  
それとも!

どうやればあなたたちにこれを  
わけることができるのかわからないよ  
うつわいて冷たい卵スープをすするだけ。

(担当：27回生 岡田(掲河)・瀬戸(上村))

## 行雲流水 + α

卒業生の皆さま、初めまして。先生方、36回生の皆さま、ご無沙汰しております。決して真面目でも品行方正でもなかった私が近況報告させていただくことに苦しいしています。

今は大阪市東住吉区にある大阪総合保育大学で教員として保育者・教育者の養成に携わっています。専門は子育て支援です。

研修講師として現任の保育者にお話させていただくことも多く、「子育て支援ソーシャルワーク研究所」として細々と活動内容を発信しています。

子育て支援が専門というと、さぞ子育てをよく知っている、子育てを楽しんでいると思われるかもしれませんが、むしろ逆です。初めて見た赤ちゃんが我が子（長男）という、核家族化のモデルのような私は、子育てのやり方が分からず、「私のように困っている人は多いに違いない。そういう人たちの力になりたい」と、子育て支援領域に飛び込みました。

それだけでなく、賢明卒業後の経歴もかなり異色です。同志社大学法学部を卒業した私は大阪市役所の行政職員として入職しましたが、長くは続きませんでした。

その後、医療ソーシャルワーカーとして病院で勤務する傍ら、佛教学の通信教育で福祉を学び、国家資格である社会福祉士を取得しました。その後も、自分の支援に自信がもてず20代は絶え間なく福祉の資格を取得するために学び続けました（あんなに勉強がライだった私が！）医療ソーシャルワーカーとしては約10年働きました。

した。30代のはじめ、社会人大学院生として大阪大学大学院人間科学研究科で学び、修士を取得しました。

そのころ結婚、出産というライフイベントも重なり、知り合いに声をかけていただき非常勤講師として短大や大学で教える仕事を始めたのが今思うと現在に至る大きな転機だったかもしれません。

祖父母など頼る人が身近にいない子育ては自分の想像を超える大変さで、冒頭に書いたように医療から学校へ領域変更し、大学の特任講師をしながらスクールソーシャルワーカーとして約8年勤務しました。

そして40代で大学院博士課程の門をたたき、大阪総合保育大学大学院で保育ソーシャルワークを研究しました。在学中に短期間ながらカナダのプリティッシュコロンビア州に行き、海外の保育や子育て支援にも興味をもちました。全ては夫と子どもの協力のおかげです。

書きつくせない失敗や挫折もありましたが、恵まれたのは人との出会いです。

賢明のモットー“The Best”を胸に頑張ってきたというよりも時の流れに身を任せ、そして周囲のおかげと自分がこうなりたいという気持ちプラスされた結果、現在に至ります。

最後になりましたが、保育・教育は国の根幹を形づくる大事な礎だとつくづく感じます。大阪総合保育大学は小さな大学できめ細やかさが自慢です。ぜひお子さまの学び、ご自身の学び（社会人学生・院生）にキャンパスへとお越しく下さい！



36回生  
丸目 満弓さん

### \* profile

大阪総合保育大学児童保育学部 准教授

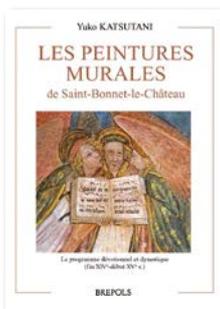
子育て支援ソーシャルワーク研究所



## 賢明で培われたキリスト教美術への愛と情熱

2011年にフランスに渡って以来、ヨーロッパを拠点に美術史の研究をしています。博士論文では、サン＝ボネ＝ル＝シャトーというフランス南東部の教会にある礼拝堂で15世紀初頭に施された壁画を扱い、調査のためフランス、スイス、ベルギー、イタリアとヨーロッパ各地の旅を繰り返してきました。2023年にフランス語の博論を書籍として刊行したのは、サン＝ボネ＝ル＝シャトー礼拝堂の天井にも表された《奏楽天使》図像への関心を中心に仕事を広げています。

ヨーロッパの文化と歴史にかかわる美術史研究者としての仕事は多岐にわたります。中世美術史の専門家として《奏楽天使》図像をもつフランス壁画に関する論文や書籍を執筆するほか、最近ではラジオや映像作品など（サン＝ボネ市制作: <https://youtu.be/9lyREx3qFjg>）、多くの方々に伝わるメディアに出演し、研究した壁画を紹介する機会も増えてきました。来年に控える最も重要な仕事としては、キュレーターとして《奏楽天使》壁画作品を紹介するストラズブルでの展覧会準備をし



ています。今は失われて存在しない、壁面に描かれた中世の楽器を復元し、これを使用した中世音楽のコンサートも行う予定です。またVRヘッドセットを使用して、展示会場にありながら聖堂内を訪れたかのような体験が得られる、ル・マン大聖堂聖母礼拝堂ヴァーチャル・リアリティも工学研究者とともに制作中です。奇跡のように生み出され、私たちの

元に残された文化財の命を守り継承してゆくための、新たな試みが形になることを夢見ています。

美しいものを愛でることの喜びを教えてくれたのは母でしたが、とりわけキリスト教美術へと関心に向けるようになった背景には、カトリック精神を教育の旨とする賢明での6年間は、すくなく影響をもたらしていたようにも思います。週に一度だけの宗教の授業が何よりも楽しみであったこと。当時、私を含め部員が2人きりであったカトリック研究会に所属をし、毎週木曜日の放課後にシスターの方々とともに聖書の一節を読み、宗教行事にそなえ礼拝堂を整えたことなどを思い出します。放課後などには清め整えられた空間にひとり身をおいて佇むことも少なくありませんでした。ここではないどこかをいつも夢見ていた中学高校時代でしたが、あの唯一の、どこまでも深い安堵を与えてくれた時間は、20年後の仕事と予期するように今日の時にまでつながってあったのかと懐かしく思い出されます。



46回生  
勝谷 祐子さん

### \* profile

美術史家。上智大学卒業後、一橋大学と早稲田大学の大学院修士課程を修了したのち渡仏。2019年ストラズブル大学にて美術史の分野で博士号を取得し、中世ヨーロッパ壁画に関する研究を行う。現在は日本学術振興会、国際競争力強化研究員CPD、早稲田大学文学学術院次席研究員、ストラズブル大学美術史学研究所客員研究員、ジュネーブ大学美術史音楽学科客員研究員、2023年よりソシエ・ナテヨナル・デ・ザンティケール・ド・フランス（フランス国立古美術協会）、海外特派員を担う。



# Shining Stars

～卒業生の一人一人が輝いています～

## いつでも、どこからでもチャンスはある

私は現在、㈱LoiLoという会社で教育ICTコンサルタントという仕事をしています。

ロイノート・スクールという授業支援アプリを教育委員会や学校で紹介したり、タブレットを活用した授業改善のコンサルタントや研修を行なっています。

また、全国の先生方が参加するイベントを開催したり、全国各地に先生方のコミュニティを作っていくことで先生方の交流もサポートしています。

ロイノート・スクールは全国の40%以上の自治体で利用されており、毎日270万人の先生方・生徒様にご利用いただいています。全国飛び回って、忙しいながらも楽しく働いています。

さらに、大好きだった絵を描くことと、タロットを活かして、「むぎのタロット」という、かつて私が飼っていたスナネズミの「むぎ」をモチーフにしたタロットを出版していただきました。



私がいろいろな活動や仕事を進めている背景には、

- ・教員時代の経験
- ・闘病生活による考え方の変化
- ・賢明生時代の楽しい思い出があると思います。

今の仕事に就くまで、私は10年間、中・高の理科の教員をしていました。

教員生活はとても充実しており、授業や学級担任、文化祭や部活動で生徒と関わるのはとても楽しかったです。

しかし、部活動で国際大会に出たことで、活動に疑問を感じました。

その大会では海外の生徒と一緒に作品を作る企画がありました。

海外の生徒たちがとても積極的にこちらに働きかけてくるのに対して、うちのチームの生徒は「英語がうまく話せない」と失敗を恐れて行動が出来なくなっていました。

「私たちが一生懸命頑張ることで、生徒の主体性を削いでいるのでは？」と疑問を感じ、「子どもたちの主体性を育てる仕組みづくりに関わりたい」と考え今の会社に転職しました。

また、「やりたい」ことに積極的になれた背景には20代後半での闘病体験が大きく関わっています。

20代後半で突然、がんになりました。幸い、今は寛解しましたが、治療中には「5年生存率」のような「自分が亡くなる可能性がある」数値を見ることになりました。そして、「人はいつ死んでもおかしくない。毎日を後悔しないように生きないといけない。」と考えるようになりました。

その結果、闘病前後に飼っていたスナネズミの「むぎ」を題材にしたタロットを出版社に持ち込み、出版していただくことができました。

病気になるって、「自分が何をしたいか」を本気で考えたことで、勇気が出せたのかなと思います。

さらに、賢明時代の楽しかった思い出が大きな力になっていると、最近実感しています。

先日、49回生の皆さんと同窓会でお会いしました。20年以上あっていない人も多かったにも関わらず、とても楽しい時間を過ごすことができました。

本当にのびのび、6年間過ごさせてもらったことが、自分の中の根源的なエネルギーになっているんだと実感できました。



49回生  
鍵本 優紀さん

### \* profile

2002年3月  
賢明女子学院卒業  
2002年4月  
上智大学化学科入学  
2006年4月  
上智大学院化学専攻修士課程に進学  
中学・高校教諭を経て2018年より株式会社LoiLo勤務、教育ICTコンサルタントとして活躍



## 【対談】賢明で働く卒業生～教員として母校に戻って～

### ～賢明の先生を目指したきっかけと、現在の仕事～

**藤戸** 学生時代に、恩師の圧倒的な知識量と独自の世界に憧れを抱き、そばで働きたいと考えました。幼い頃から音読、人の考えに触れること、本を読むことが好きで国語を選びました。人生の節目で、言葉に支えられてきた実感もあったからです。教育実習時、拙い授業に落ち込んでいたときに当時高1（59回生）の生徒が「楽しかったです！絶対先生になって帰ってきてください」と笑顔で声をかけてくれたことも今でも心に残っています。

やりがい、中高一貫校だからこそ、生徒と深く繋がることです。入学間もない12歳と卒業前の18歳では悩みも大きく異なりますが、その変化の過程を見守れることがありがたいです。

**二儿** 先生方が親身になって関わってくださる温かい姿に憧れ、自分も教員として賢明に戻ってきたいと思うようになりました。特に高校時代の英語の先生の授業がとても面白く、その後を追うことに決めました。

教員の仕事は行事や授業含め毎日生徒の表情も違うので、やりがいに溢れています。教員になりたての頃は「正しさ」ばかりが目がいき、生徒との関わり方にも余裕がありませんでしたが、今は良い意味で生徒一人ひとりを見つめられるゆとりをもて、日々の成長に目を向けて一緒に喜び、楽しめるようになりました。

### ～賢明の変わらないところ、変わってきたところ～

**藤戸** 変わらないところは、アットホームなところ。先生と生徒の距離が近く、卒業しても繋がりがあると感じられます。先生になって卒業生が学校に顔を出してくれることってこんなに嬉しいんだと実感しました。

変わったところは学校側が生徒の自主性、主体性を受け入れて、後押しする体制が感じられるところです。いま生徒会を担当していますが、この夏休みに生徒の発案で、暑さ対策のために私服登校の試行期間を設けました。校則も見直しを

進めています。私が学生の頃は自分たちで変えられるという認識はありませんでしたが、今は生徒と学校と一緒に、賢明をより良くしていく方法を考えられる環境に変化しています。

**二儿** 私も「生徒と教員の距離の近さ、繋がりの深さ」だと思います。それがカトリックの精神と相まって、学校全体のアットホーム感をつくっているように感じます。教員になって、卒業生の先輩方とお話したり、卒業した教え子が遊びに来るようになり、それをより強く感じるようになりました。「自分の力を使って困っている誰かのためにできることをやりたい」と考えている生徒がたくさんいるのは今も昔も変わらないように感じます。

変わった点でいうと、教育カリキュラムや学習スタイルです。知識を深める教科教育以外にも、自ら考え調査分析をしながら課題解決法を提案するような探究型学習のカリキュラムも組み込まれ、ICTの活用を含め、生徒たちがより多様なスキルを身につけつつあります。

### ～これからの目標～

**藤戸** 専門性を高めたい、もっと生徒の力になれば、等色々浮かびますが、1番は子育てと仕事の両立でしょうか…（笑）

教員は、生徒たちにとって家族以外で最も長く時間を共にする大人だと考えています。生徒たちが「大人って楽しそうだな」、「国語おもしろいな」と思ってもらえたら良いな、と思っています。

**二儿** 生徒にとって保護者の次に身近な大人（女性）として、「こんな人もいるんだな」というモデルでありたいと思っています。

自分がそうであったように、賢明での6年間は生徒たちにとって、進路（職業）においても人格面においても「こうになりたい、こうありたい」を模索し続ける時期です。そんな時に、等身大の自分自身の在り方や考え方・行動を通して何か気づきを与えられる教員であれば嬉しいです。

少林寺拳法部で、朝、昼、放課後と練習に励んでいたのが青春でした。勉強も部活もできる先輩のようになりたいと憧れていました。



53回生  
藤戸 麻衣 (旧姓:吉岡) さん

バレー部では仲間と時にぶつかりながら練習に励んだり、英語のスピーチコンテストに出場した時は、毎日先生に練習に付き合ってくれて、多くの場面で私を信じてくださる人達の温かさに触れる機会があったのが学生時代の原動力でした。



53回生  
二儿七恵 (旧姓:萩原) さん

# 同窓会だより

同窓会の報告原稿を募集しております。毎年12月末締切りとさせていただきます。お写真、記事をメールかお手紙にてご連絡ください。

メールアドレス [rivier.kenmei@gmail.com](mailto:rivier.kenmei@gmail.com)

## 11回生 同窓会 2024年4月7日(日)



11回生の皆様 お元気でしょうか？  
4月7日にシスター松本恵さんがオーストラリアから一時帰国されましたのを機に山陽百貨店東天紅でミニ同窓会を開きました。  
コロナ禍でなかなか開かれなかったのですが、大阪、静岡からも参加されました。  
18名でしたが、久しぶりで皆さん学生時代に戻り、話が弾みました。  
集合写真を撮った後は携帯でラインの交換にあちこちのテーブルが賑わいました。  
姫路では3か月に1回食事を開いています。  
お世話は前田三津子さん(TEL090-2701-7356)がしております。参加して楽しんで下さい。

幹事 伊藤(田辺) 溥子 酒見(力丸) 宣子  
永森(松本) 直子 前田(高須) 三津子

## 21回生 同窓会 2024年11月15日(金)



### 古希の会同窓会 ホテル日航姫路にて

私たち21回生は今年卒業して50年になります。また古希を迎えるため、14年ぶりに51名の皆さまの出席で同窓会を開催致しました。  
在学中のアルバムからのスライドショーを見ながら、学院生活を懐かしみ、非常に楽しいひと時を過ごしました。  
尚、同窓会で残ったお金(12,870円)は賢明女子学院同窓会に寄付致しました。  
また、皆さまと元気にお会い出来る事を楽しみにしております。

幹事 志方(足立) 由美 三和(前橋) 加奈子

## 22回生 同窓会 2024年10月24日(木)



2024年10月24日、三宮VILLA BLANCHEにて22回生第7回同窓会を開催いたしました。コロナ禍をのりこえ5年ぶりに皆で集うことが出来ました。  
賢明卒業以来50年ぶりの方、遠方より参加して下さいました方もあり、賢明時代の名札(旧姓)を胸につけ、楽しいひとときをすごすことができました。  
また、同窓生の生ピアノ伴奏での学院歌、聖歌斉唱も盛り上がり感激いたしました。  
次々笑顔いっぱいでお会いできますように！

幹事 池田(舟引) 朋子 小林(山田) 洋子  
横谷(奥田) 恵子 宇根(平林) 千津恵

## 49回生 同窓会 2024年2月25日(日)



49回生の皆さんへ  
今回の同窓会を機にLINEグループが出来ています。当日のお写真もたくさん共有されています。ご参加ご希望の方はご連絡ください。

2024年2月25日(日)に、ホテルモンテにて同窓会を開催しました。  
当日は38名が会場に集い、再会を喜び合いました。このような形で顔を合わせるの卒業ぶりにもかかわらず、一瞬で一緒に過ごしていた高校生の頃にタイムスリップ。お互いの近況報告、賢明生時代の話で盛り上がりました。「今度は何をする?」「また絶対会おうね!」と、次の開催も確認しました。  
「1/2成人式」というイベントが流行り始めた頃から、「1/2があるならダブル成人式もありよね!」とひそかに温めてきた私の企画。学校にもご協力いただき、連絡先の分かる範囲で同級生に声をかけたところ、74名が返事をくれたことは、本当にうれしかったし、声をかけてよかったと心から思いました。また同級生の笑顔に会えるよう、近い未来で開催企画したいと思います。同級生って、同窓会っていいですね!

企画・幹事 49回生 依田 法子

## 2024年度 関東地区同窓会開催報告



2024年11月10日（日）、竹本隆幸先生をお迎えして、6年ぶりに横浜にて関東地区同窓会を開催いたしました。16期から60期まで45名の卒業生の皆様にご参加いただきました。

同窓会会長から現在の賢明女子学院の状況を伺い、同窓生のスピーチに盛り上がり、共に祈り学院歌を斉唱、賢明ファミリーの絆をより深く感じられる楽しい時間となりました。

コロナ禍を経て無事に会を開催できましたこと、幹事一同心より感謝申し上げます。

## ファミリーコーラス「リヴィエ・ブリランテ」

卒業生の皆さんへ

こんにちは。賢明ファミリーコーラス「リヴィエ・ブリランテ」です。

このグループは、2014年度から賢明ファミリーの集いとして、在校生の保護者、卒業生の方などが集まり練習を始めました。コロナ休止期間を経て2024年再開致しました。

現在15名程で活動しています。よろしければどうぞ歌いにいらして下さい。

**日時** 毎月1回  
(学校行事等のない土曜日 14時～15時)  
事前に予定表をお配りします。

**場所** 賢明女子学院 聖堂

**持ち物** 楽譜はこちらで用意します。

**担当者** 藤岡佐和子（指揮）阪綾香（ピアノ）

**申込み** 電話でお申し込みください。

TEL 079 (223) 8456 賢明女子学院

## 聖書の集い

賢明女子学院卒業生の皆さんへ

聖書から「生きる意味」を求めて一緒に集まりませんか？

2023年5月からはじめた「聖書の集い」。現在、13名の方にご登録頂いております。創立者マリー・リヴィエも聖書から多くのお力をいただかれました。皆さんも在学時代に学んだ聖書をさらに深めてみませんか。

よろしければ右記の日時お集まりください。

**日時** 毎月第1土曜日 14:00～15:00

**場所** 賢明女子学院同窓会室

**持参するもの** 聖書

**担当者** Sr.鷺尾和子

**申し込み** 電話またはメールでお申し込みください。

TEL 079-264-5082

Mail pmwashio26@gmail.com

※学院に駐車場はありませんので、車での来校はご遠慮ください。

## 卒業生 VISIT

「卒業生 VISIT」は、各方面で活躍する卒業生によるキャリア教育プロジェクトです。賢明在学中の経験がどのように結びついたか、それぞれのキャリアに基づき後輩たちに向けて授業をしています。2019年から始まったこの取り組みも今年で5年目。今年度は在校生と年齢の近い方々に担当頂きました

### 6月4日 (火)

63回生 ホアンドウ ゴックランさん (ウエディングプランナー)

#### 「Love my Self ～誇れる自分へ～」

「人を幸せにしたい」という思いを大切に、現在横浜にある結婚式場でウエディングプランナーとして活躍。今回は中学生全員を対象に授業されました。

賢明時代のことはもちろん、進学先の音楽大学での挫折、就職活動での苦労を経て、「自分を知ること」ことの大切さに気付いたそうで、後輩たちにも「まずは自分のことを良く知って、自分を大切にしてほしい」と話されていました。

「私の今の目標は9センチのヒールを履いて表参道をカッコよく歩く女性になること！」と話されていたのが印象的でした。



### 11月15日 (金)

63回生 堀内 瑛深莉さん (薬剤師)

#### 「私の幸福論～あなたたちはどう生きるか～」

現在地域支援療養病院の薬剤師として活躍。高校1・2年生を対象に授業をしていただきました。

在学時に受けたキャリア教育講座をきっかけに将来のことを考え、目標ができ薬剤師を志すようになったこと、薬学生生活は想像以上に勉強が大変だったこと、病院薬剤師として働く今は、患者さんの背景を考えようで最適に提供できるように日々尽力されていることなどのお話がありました。世代の近い先輩の話は、後輩たちの心にも響いたことと思います。



学院では卒業生 VISIT で講演して下さる、卒業生の方を募集しています。後輩たちに伝えたい思いがある方はもちろん、「この人の生き方を紹介したい」という卒業生がおられましたら、ぜひご紹介ください。

## ご冥福をお祈り申し上げます

わたしは彼らに永遠の命を与える。  
彼らは決して滅びず、  
われも彼らをわたしの  
手から奪うことはできない。  
ヨハネによる福音書十章二十八節



旧職員 Sr. フランシス	2024年7月6日
旧職員 坂田 治子 (福積)	2024年2月27日
旧職員 野村 利光	2024年8月23日
旧職員 倉田 純子 (木村)	2023年7月22日
旧職員 桧尾恵美子 (井上)	2024年8月8日
旧職員 古川 和子 (山本)	2024年
旧職員 松岡 清志	不明

1回生 関野 早恵 (鍋島)	2024年5月7日
2回生 中野 良子 (越智)	2019年7月14日
2回生 荒木 悦子 (町)	2023年3月20日
3回生 村田 怜子 (北森)	2022年
3回生 小松千恵子	2023年1月16日
5回生 大垣喜美代 (大垣)	2024年1月17日
5回生 汐田美喜子 (戸田)	2022年9月18日
6回生 合田 恭子 (神吉)	2023年12月20日
6回生 小野 克子 (菊谷)	2021年5月19日
6回生 射場 博己 (高坂)	2023年3月10日
6回生 加茂川宏子 (柴田)	2024年2月21日
6回生 牧野 恵津 (瀬尾)	2024年9月26日
6回生 谷垣 紘子 (高尾)	2024年7月15日
6回生 丸中美津子 (藤後)	不明
8回生 半田 朋子 (小川)	2024年9月
8回生 長谷川はつ子 (置村)	2024年2月3日
8回生 田中 芳恵 (田中)	不明
8回生 小林 良枝 (三木)	2024年1月9日
8回生 米澤 恵子	2021年
9回生 佐古井紀子 (川辺)	2023年12月14日
9回生 前河美津子 (西元)	2024年4月7日

11回生 鳴尾佐代子 (田中)	2023年7月30日
11回生 浪越万里子 (山本)	2023年5月
12回生 三木 章子 (芦家)	2023年8月1日
12回生 山崎 詢子 (大塚)	2023年12月24日
12回生 桂 潤子 (京本)	2024年9月7日
12回生 浜中美喜子 (諏訪)	2024年3月6日
12回生 三宅美智子 (三宅)	2024年4月24日
13回生 大神 早苗 (中川)	2023年10月20日
13回生 井上 晴美 (三輪)	2023年7月8日
14回生 宇治千佳子	2022年6月1日
15回生 小山 早苗 (石鍋)	2024年5月23日
17回生 高島 陽子 (吉田)	2024年10月
21回生 西 牧子 (長坂)	2022年
21回生 春井ちづる (春井)	2024年3月19日
22回生 松澤さかゑ (香和)	2022年11月29日
22回生 並川あけみ (中村)	不明
22回生 佐野 律子 (三堀)	2024年2月7日
27回生 岡本奈津子 (今井)	2024年1月14日
38回生 濱本麻理子	2024年6月29日
41回生 稲松 麻美 (岡田)	2023年10月29日

# 本部 だ よ り

## 2024年度 活動報告

### 第77回中学入学式

- 2024年4月9日(火)  
会長、副会長が出席

### 2024年度理事会

- 2024年6月2日(日)  
10:00~12:00
- 顔合わせ、行事予定の確認
- バザーの役割分担
- あらむね編集委員の選出

### 学院祭バザー

- 2024年9月14日(土)  
9:30~14:00  
全理事でバザーを運営  
(前日、バザー準備13:00~  
16:00、バザーの値付け)

### 追悼行事

- 2024年10月30日(水)  
14:30~  
会長、副会長並びに逝去  
された回生の理事が出席

### 第73回創立記念行事

- 2024年11月20日(水)  
14:10~  
副会長が出席

### クリスマス行事

- 2024年12月21日(土)  
13:30~  
本部役員がクリスマス  
ブローを鑑賞しました

### 卒業式予行演習

- 2025年2月28日(金)  
会長から卒業生へ祝辞と  
同窓会入会を説明

### 卒業式

- 2025年3月1日(土)  
会長、副会長が出席  
同窓会から記念品(コサ  
ージュと卒業証書ファイル)  
を贈呈

### 定例会

本部役員会議を月1回程度  
同窓会事務室で実施  
あらむね編集会議は年2回  
程度開催

## 2025年度 活動予定

- 2025年  
**中学入学式**  
 4月8日(火)  
**理事会**  
 6月1日(日)  
 10時~12時  
**バザー準備日**  
 9月13日(土)  
**学院祭バザー**  
 9月14日(日)  
 9時30分~  
**追悼行事**  
 10月29日(水)  
**クリスマス行事**  
 12月20日(土)
- 
- 2026年  
**高校卒業式**  
 2月28日(土)

## 2023年度会計報告 (2023年4月1日~2024年3月31日)

### 収入の部 (単位:円)

項目	備考	金額
前年度繰越金		34,447,281
71回生会費	@20,000×98名	1,960,000
バザー売り上げ		579,810
雑収入		1,354
利息		7,845
合計		36,996,290

### 支出の部 (単位:円)

項目	備考	金額
あらむね発行		1,775,432
卒業式	コサージュ 証書ファイル	154,440 63,700
学院祭経費		44,242
バザー経費		185,347
寄付(学院へ感染対策として)		1,000,000
ホームページ維持費		22,000
会議費		57,824
事務費		3,600
卒業生VISIT(交通費)		8,000
次年度繰越金		33,681,705
合計		36,996,290

2024年3月31日現在総資産額 33,681,705

### あらむね編集委員募集!

「あらむね」の編集委員を募集しております。各企画など皆さんのアイデアを記事にしてみませんか?詳しくはリヴィエ会まで。

### あらむね原稿募集!

同窓会やりました!同窓会開催します!卒業生の活躍、こんな仕事しています。賢明あるある、クラブ活動の思い出などなど「あらむね」に掲載いただける原稿を募集しております。どしどしお寄せください。(締切:毎年12月末)

メールアドレス [rivier.kenmei@gmail.com](mailto:rivier.kenmei@gmail.com)

## 学院追悼行事

11月の学院追悼行事でお名前をあげさせていただくのは、その年の9月末までの1年間に訃報の連絡があった方々です。(あらむね掲載は12月末までに連絡があった方)

- なるべく早いご連絡を
- ご連絡の際は
  - \* 卒業回(期)生
  - \* お名前(旧姓)(フリガナ)
  - \* 逝去日を必ずお知らせください。
 できればメールかFAXでお願いします。





理

事

名

簿

2025年度

## 2025年度 理事会のご案内

日時 2025年6月1日(日) 10時～12時(予定)

場所 2階621教室(当日本部役員がご案内します)

※理事が出席できない場合は必ず代理の方をお願いします。※校内は駐車禁止になっています。

## 2025年度 学院祭バザーのご案内

日時 2025年9月14日(日) 9時30分～

※品物がなくなり次第終了

場所 同窓会室(食堂東隣)

今年は **日曜日開催** になります！

バザーの出品物(日用品・手芸品など)にご協力下さい。出品物には、必ず希望の売値をつけておいて下さい。また、管理の都合上9月1日(月)以降に本学院までご郵送・ご持参ください。(平日の17時まで受付)

※都合により変更・中止する場合があります。情報は学院または同窓会のHPで随時発信してまいりますので、ご確認ください。

## 同窓会ホームページ・SNSへの掲載を希望される方は

ホームページ掲載のご依頼は、以下の手順をお願いします。

- ① 賢明女子学院同窓会ホームページにアクセスしてください。
- ② ホームページ掲載依頼についてのガイドラインをご一読いただき、ご理解の上、掲載依頼書をダウンロードしてください。
- ③ 必要事項をご記入の上、Gmailで同窓会宛にお送りください。(FAXでも学院宛に送信可能です。)

賢明女子学院

検索

<https://www.himejikenmei.ac.jp>

同窓会ホームページは、学院ホームページ下部にあります「同窓会」よりご覧下さい。

## 住所異動はご連絡下さい

TEL.079-223-8456 FAX.079-223-8478

E-mail [rivier.kenmei@gmail.com](mailto:rivier.kenmei@gmail.com)

※卒業回(期)生・お名前(旧姓)(フリガナ)・できるだけ宛名にある会員番号をお知らせ下さい。

※できるだけメールかFAXにてご連絡下さい。

賢明女子学院中学校高等学校同窓会

<http://kenmei-rivier.jp/>

同窓会Facebook



同窓会ホームページ



同窓会Instagram

## 編集後記

今回の表紙、校内のどの場所かわかりましたか？

答え合わせに、ぜひ学校に足を運んでみてくださいね。

今年はホームページやSNSでの発信がなかなかできていなかった分、「あらむね」にはたくさん詰め込みました。編集作業が大変でしたが、皆さまのご協力で、今年もステキな会報が出来上がりました。「あらむね」を手にとられた皆さまが、賢明で過ごした日々を思い出していただければ幸いです。

